

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公開番号】特開2015-98092(P2015-98092A)

【公開日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-237651(P2013-237651)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 6 5 H 5/06 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月7日(2016.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被記録媒体に対して液体を吐出する記録ヘッドを備えるとともに所定の移動方向に移動可能なキャリッジと、

前記液体を収容する液体収容部と、

前記液体収容部から送られる前記液体を前記記録ヘッドへと導く、可撓性を有するチューブと、

被記録媒体を搬送する第1ローラー及び当該第1ローラーの上側に配置される第2ローラーと、

被記録媒体の搬送方向と交差する方向に延びる形状を成し、前記第2ローラーを保持するとともに前記チューブを支持する支持部材と、

を備えた記録装置。

【請求項2】

請求項1に記載の記録装置において、前記チューブは、前記キャリッジから当該キャリッジの移動方向である第1方向に延出した後下方向に湾曲し、前記第1方向に対して反対方向である第2方向に折り返した先の区間が前記支持部材によって支持される、ことを特徴とする記録装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の記録装置において、前記チューブは、少なくとも一部が前記支持部材に固定される、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか一項に記載の記録装置において、前記支持部材は、前記チューブを所定方向に案内するガイド部を有する、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項5】

請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の記録装置において、前記チューブを複数本備え、

前記複数本のチューブは、前記支持部材上において、前記被記録媒体の搬送方向と交差する方向に延在するとともに、前記被記録媒体の搬送方向に沿って並列に配置される、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれか一項に記載の記録装置において、前記チューブをガイドするガイド部材が前記チューブに隣接して設けられる、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 7】

請求項 1 から請求項 6 のいずれか一項に記載の記録装置において、前記支持部材には、前記搬送方向と交差する方向に延びるリブが形成されている、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれか一項に記載の記録装置において、前記第 1 ローラー及び前記第 2 ローラーは、被記録媒体の搬送経路において前記記録ヘッドより下流に設けられ、記録の行われた被記録媒体を排出する排出手段を構成する、ことを特徴とする記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の第 5 の態様は、第 1 から第 4 の態様のいずれかにおいて、前記チューブを複数本備え、前記複数本のチューブは、前記支持部材上において、前記被記録媒体の搬送方向と交差する方向に延在するとともに、前記被記録媒体の搬送方向に沿って並列に配置されることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本態様によれば、前記チューブを複数本備え、前記複数本のチューブは、前記支持部材上において、前記被記録媒体の搬送方向と交差する方向に延在するとともに、前記被記録媒体の搬送方向に沿って並列に配置されるので、前記支持部材は複数本のチューブから広範囲で外力を受ける。その結果、前記第 2 ローラーが前記第 1 ローラーから離間する方向への支持部材の変形をより効果的に抑制できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

また本実施形態では、複数本のインクチューブ 12 は、チューブ支持部材 31 上において、用紙の搬送方向と交差する方向（x 方向）に延在するとともに、用紙搬送方向（y 方向）に沿って並列に配置されるので、チューブ支持部材 31 は複数本のインクチューブ 12 から広範囲で外力を受ける。その結果、排出従動ローラー 20 が排出駆動ローラー 19 から離間する方向へのチューブ支持部材 31 の変形をより効果的に抑制できる。